

地域医療支援病院業務報告要旨

I 概要

医療機関コード	1315070016					
病院名	日本医科大学多摩永山病院					
所在地	東京都多摩市永山1-7-1					
管理者氏名	院長 牧野 浩司					
病床数	一般	療養	感染症	精神	結核	合計
	405床	0床	0床	0床	0床	405床
承認年月日	令和3年3月31日					

II 業務報告

対象期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
------	--------------------

1 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

承認要件	ア 紹介率80%以上	
紹介率	① / (② - (③ + ④ + ⑤))	92.4 %
※患者数は延べ人数	①紹介患者数	8,799 人
	②初診患者数	13,443 人
	③地方公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬入された患者の数(初診に限る)	3,075 人
	④休日又は夜間に受診した救急患者の数(初診に限る)	844 人
	⑤健康診断を目的とする受診により、治療の必要性を認めて治療を開始した患者の数(初診に限る)	0 人
逆紹介率	⑦ / ② - (③ + ④ + ⑤)	66.9 %
※患者数は延べ人数	⑦逆紹介患者数	6,373 人

2 共同利用の実績

(1) 共同利用の体制等

利用医師等登録制度の担当者役職	課長
登録医療機関数	214 件
うち開設者と直接関係のない医療機関の数	214 件

(2) 共同利用状況

共同利用を行った医療機関の延べ数	1,101 件
共同診療件数	0 件
高額医療機器共同利用件数	5,795 件
共同利用病床数	5 床
共同利用病床利用率	0.0 %
共同利用可能な医療機器	CT, MRI, 超音波、内視鏡、放射線治療
共同利用可能な施設等	会議室・集会室・図書室・放射線治療室・CT室・MRI室・血管造影室・内視鏡検査室・超音波室

3 救急医療の提供の実績

(1) 救急患者数

救急搬送による救急患者数	4,238 (3,075)
救急搬送以外の救急患者数	2,231 (844)
合計 (うち初診患者数)	6,469 (3,919)

※括弧内は、初診救急患者数

(2) 重症救急患者の受入体制

重症救急患者に必要な検査・治療に必要な診療施設	CT、MRI、超音波、手術室、血管造影室
優先使用可能な病床数	19 床
専用病床数	12 床

(3) 通常の当直体制以外における重症救急患者の受入体制状況

通常の当直体制以外における体制確保の有無	有	
	常勤	非常勤
医師数	154人	3人
うち専従数	154人	0人
看護師数 (准看護師含む)	511人	2人
うち専従数	511人	0人
薬剤師数	26人	0人
うち専従数	26人	0人
診療放射線技師数	29人	0人
うち専従数	29人	0人
臨床検査技師数	39人	3人
うち専従数	39人	0人
臨床工学技士数	13人	0人
うち専従数	13人	0人
上記以外の従事者数	196人	10人

(4) 救急用又は患者輸送用自動車所持台数

救急用又は患者輸送用自動車	2 台
---------------	-----

4 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

(1) 研修体制

研修委員会の有無	有
研修委員会の名称	スキルアップコース、地域医療支援病院運営会議
研修プログラムの有無	有
研修指導者数	2 人
研修施設	当院会議室、集会室、外部研修施設利用

(2) 研修実績

地域の医療従事者への研修会開催回数	12 回
うち医師以外の医療従事者を対象とした研修会	12 回
研修会延べ参加人数	353 人
うち院外のための延べ参加人数	114 人
症例検討会の開催回数	3 回
医学・医療に関する講習会の開催回数	2 回
研修の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・看護部によるスキルアップ研修 ・当院医師における講演会

5 診療並びに病院の管理運営に関する諸記録の体系的な管理方法

管理責任者	院長
管理担当者	課長
診療に関する諸記録の管理方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電子カルテ ・ 各部門電子サーバー等 ・ 診療録管理室
病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共同利用の実績 ・ 救急医療の提供の実績 ・ 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修会の実績 ・ 閲覧実績 ・ 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿

6 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者	院長	
閲覧担当者	役職なし	
閲覧方法	来院にて閲覧	
前年度の総閲覧件数		0 件
閲覧者別延べ件数	医師	0 件
	歯科医師	0 件
	地方公共団体	0 件
	その他	0 件

7 委員会の開催実績

委員長の役職等	日本医科大学多摩永山病院 院長	
委員数		23 人
	うち院外	14 人
委員会の開催回数		4 回
委員会の概要	2024年7月18日、9月17日、2025年1月23日、3月29日 委員紹介、各種実績報告、ご意見・ご要望の拝聴	

8 患者相談の実績

相談を行う場所	相談窓口、相談室、その他（カウンセリング室）
主たる相談対応者	社会福祉士、患者相談窓口担当看護師、がん専門看護師、臨床心理士
相談件数	44,407 件
相談の概要	<p>【患者相談窓口】 患者相談窓口では、看護師・社会福祉士を配置し、患者・家族から下記のような各種相談を面談及び電話で対応をしている。患者相談窓口担当で解決が難しい事例は各部署の多職種と連携しながら介入をしている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療相談：受診を希望する患者への受診方法や診療科の案内、検査・検診・予防接種などに関する相談の対応を行っている。当院での診察が困難な場合は、医療連携室で作成したリストを使用し他院の案内をしている。 2. 看護相談：療養上の様々な不安や不明な点について外来・病棟看護師、専門・認定看護師、退院支援看護師等と連携し、情報共有し支援している。 3. 他施設からの問い合わせ：保健所や地域包括支援センター、訪問看護ステーション、介護施設、その他の医療機関からの問い合わせの初期対応を行い、その後該当する部署につないでいる。 4. ご意見：様々な訴え・苦情・クレームの初期対応を行っている。患者相談窓口担当で解決が難しい事例は、当事者又は当事者の部署責任者や医療安全管理部に報告を行い、協働しながら問題解決に向け取り組んでいる。 5. その他：医療費の限度額申請方法、介護保険申請などの情報提供など、患者・家族の問い合わせに対して初期対応を行っている。 <p>【医療福祉相談】 医療福祉相談室では、社会福祉士を配置し、入院外を問わず生活と傷病の状況から生じる心理的・社会的問題の予防や早期解決を社会福祉の専門的知識及び技術を用いて支援している。療養中に生じる問題は、経済問題、家族問題、人権問題（虐待・DV）、特定妊婦、就労問題など多岐にわたる。患者だけでなく、家族に対しても問題が生じている多問題ケースも増えている中、面談を通じて課題を整理し、患者家族への課題解決のためのサポート（伴走）やケースに応じた制度の利用、関係機関との連携を行い解消に努めている。1. 経済問題：保険、年金、医療費助成、休業補償、生活保護など社会補償制度の情報提供を行い安心して医療を受けられる環境を整えている。2. 家族問題：独居、キーパーソン不在、高齢者、認知症の問題に対して財産管理や後見人制度等身元補償や金銭管理の対応を行っている。3. 人権擁護問題：院内でCAPS委員会を立ち上げ、虐待・DV・未受診妊婦や出産されたお子さんの人権と生命保護に努めている。その他、外国人中国残留孤児や難民など人種にしばられない福祉相談を行っている。</p> <p>【がん相談】 がん専門看護師・がん関連認定看護師・看護師・公認心理士・社会福祉士が対応を行っている。がん治療や療養に関する情報提供、がん治療に伴う苦痛、症状対応方法と情報提供、生活支援治療や療養に関する情報提供、治療や療養場所の選択における意思決定支援、精神的苦痛や不安への対応、AYA世代の支援、家族支援、療養場所の調整、治療継続における経済的負担への対応を行っている。就労相談では、予約制で社会保険労務士が対応している。</p> <p>【脳卒中相談】 脳卒中相談では、脳卒中療養相談士の資格を持つ社会福祉士・看護師・言語聴覚士・作業療法士が当院に入院・外来通院している患者・家族の脳卒中に関する相談の対応を行っている。安心・納得して治療や療養を受ける事が出来るよう在宅生活について、介護保険等の福祉サービスについて、医療費の支払いや生活費について、仕事について、嚥下機能障害について、身体障害者手帳申請に必要な計測や測定を行っている。</p>

9 地域医療支援病院に求められるその他の取組 (任意)

(1) 病院の機能に関する第三者による評価

病院の機能に関する第三者による評価の有無	有
評価を行った機関名、評価を受けた時期	公益財団法人 日本医療機能評価機構 (Ver. 3.0)

注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。

(2) 果たしている役割に関する情報発信

果たしている役割に関する情報発信の有無	有
情報発信の方法、内容等の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページ ・ 患者向け情報 「ほっと多摩」(年2回発行)：院内最新情報、診療科、医師、メディカルスタッフ等の紹介や取組紹介。 「永山CANだより」(年1回発行)：診療科で取扱うがんに対する説明。多職種チーム、支援制度、取組の紹介、実績報告等。 ・ 医療機関向け 「医療連携ニュース」(毎月発行)：新任医師、診療科、メディカルスタッフ等の紹介、研修会、医療EX等のご案内 「外来診療担当医表」：担当医専門領域一覧、宿日当宿当番表

(3) 退院調整部門

退院調整部門の有無	有
退院調整部門の人員体制、取組状況等の概要	<p>【人員体制】退院支援担当看護師7名 社会福祉士6名【取組状況等の概要】看護師及び社会福祉士が各専門性を活かし、入院患者の退院支援・調整を行っている。具体的には患者が安心して入院、治療に専念できるよう、退院後の生活を見据え、入院前から支援を行っている。患者や家族が抱える心配事や問題の早期発見に努め、患者の状況に応じ院内外の多職種チームと協働し、住み慣れた地域で療養や生活を継続できるよう支援をしている。患者の退院前カンファレンスを行い、患者の状況に応じて退院後訪問を実施している。</p>

(4) 地域連携を促進するための取組

地域連携クリティカルパスの策定	有
策定した地域連携クリティカルパスの種類・内容 地域連携クリティカルパスを普及させるための取組	南多摩医療圏大腿部頸部骨折地域連携パス会議へ参加。実績報告と情報交換を行っている。